

令和4年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	土木学会新潟会「土屋雷蔵賞」	事業経緯	継続	実施体制	協力	担当所属	企画調査室
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	表彰活動支援事業			事業区分	表彰、コンクール

1. 事業目的

公益社団法人土木学会関東支部新潟会では、産・官・学の情報交換を図り、多様化する土木技術の実情を把握するとともに、より一層の技術の向上を目指す目的で、毎年、研究調査発表会を開催している。

本賞は、新潟地区の土木工学に係る学術・技術の進展に尽力、土木事業の発展に寄与された故 土屋雷蔵工学博士を称え制定した制度で、地域を支える土木技術者を育成することを目的に、研究発表会の優秀講演者を表彰する。

2. 事業実施体制

主催：(公社)土木学会 関東支部新潟会
 協力：(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

◆令和4年度(第40回)研究調査発表会概要

日時：令和4年11月16日(水) 9:00～15:00
 会場：オンライン開催
 プログラム：
 ・セッション(課題発表) 7部門118課題

◆土屋雷蔵賞概要

対象者：論文内容に加え、講演が簡潔明瞭で優れた者
 選定方法：各セッションの座長がそのセッションでの発表者を評価
 その評価に基づいて若干名を受賞対象者として決定
 別途「規定」「内規」に基づき選定
 第24回土屋雷蔵賞受賞者：5名
 * 新潟会ホームページにて賞の概要と受賞者を公表

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

本賞は、平成11年度第17回研究調査発表会より始められ、令和4年度までに計110名が受賞している。

故 土屋雷蔵 博士は、旧建設省技官として北陸の地に勤務した。全国有数の交通量を誇る全線立体構造の新潟バイパスを構想段階から牽引し、地域特有の雪に強い道路づくりを推進するなど、先見性と実行力に優れた土木技術者である。

その名を冠した表彰制度は、産官学の若手研究者・技術者の調査研究を推進・奨励し、地域を支える土木技術者を育成することに大きな意義を持っている。

The screenshot shows the website for the Niigata Branch of the Japanese Society of Civil Engineers. It features a navigation bar with links for 'TOPページ', '組織の概要', '行事案内', '研究調査発表会', '協会・支部会', and 'いりかた土木構造づくり'. The main content area is titled '新潟会研究調査発表会' and includes information about the 40th annual meeting held on November 16, 2022. A prominent box highlights the announcement: '2022年度「土屋雷蔵賞」が選定されました。' (The 2022 'Ryuzo Taniya Award' has been selected). Below this, a list of winners is provided, including names like 小柳 徳輝 (長岡技術科学大学), 山下 大輝 (新潟大学), 木歩士 理未 (長岡技術科学大学), 阿部 美里 (長岡工業高等専門学校), and 五十嵐 晋哉 (長岡技術科学大学). A central box titled '新潟会HPでの概要及び受賞者公表' (Summary and Award Recipients Announcement on Niigata Branch HP) provides details on the award's purpose and selection process. A smaller box titled '賞の紹介' (Award Introduction) further explains the award's history and goals.